

「アクションプラン 2019」から新たに追加された施策

令和元年 5 月に公開された「アクションプラン 2019」から新たに追加された施策等は、以下のとおりです。

- ベクトルタイルの小縮尺データの軽量化を検討
- 3次元地図作成の仕様を明確化
- 防災等での利用を考慮した公共施設項目を検討
- 地名・施設情報に係る地図表示の効率化を検討
- 洪水災害において浸水範囲を迅速に把握するためのシステムを構築
- 南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域の地図情報を精緻化
- 緊急観測を念頭にした常設化 SAR の各種の精度検証
- 「令和元年度行政事業レビュー公開プロセス」（令和元年 6 月）の指摘を踏まえた、
地理院地図を含む地理空間情報ライブラリーのインターフェースの設計・構築
- 地図の利用手続の緩和に関する地方公共団体への周知、一般への広報
- 民間等電子基準点の登録やリアルタイムデータ共有の実証実験
- 過去の災害と防災地理情報との比較・分析を行い、分かりやすく解説したコンテンツ
を作成
- ベクトルタイルを高速にウェブ表示可能にするための技術開発
- ALOS-3 画像の精度検証に向けた環境整備と画像基準点を整備
- 災害に強い位置情報の基盤（国家座標）構築のための宇宙測地技術の高度化に関する
研究